

2023.03.04

2022老人保健健康増進等事業
「介護現場での社会実装化を見据えた外国人介護人材キャリア育成に資する有効な手法確立のための調査研究事業」
公開シンポジウム

「外国人介護人材政策の現状と今後について 政策の行方を踏まえて」

厚生労働省 社会・援護局

福祉基盤課 福祉人材確保対策室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

現状と今後（概要）



EPA（経済連携協定） （インドネシア・フィリピン・ベトナム）

二国間の経済連携の強化

在留者数：3,069人
（うち資格取得者738人）

※2022年8月1日時点（国際厚生事業団調べ）

技能実習 （H29. 11 / 1～）

本国への技能移転

在留者数：15,011人

※2022年6月末時点（入管庁）

在留資格「介護」 （H29. 9 / 1～）

専門的・技術的分野の
外国人の受入れ

5,339人

※2022年6月末時点（入管庁）

特定技能1号 （H31. 4 / 1～）

人手不足対応のための一定の専門性・
技能を有する外国人の受入れ

在留者数：16,081人

※2022年12月末時点（速報値）（入管庁）

外国人介護人材政策の方向性

「介護保険制度の見直しに関する意見」 (令和4年12月20日、社会保障審議会介護保険部会)

II 介護現場の生産性向上の推進、制度の持続可能性の確保

1. 介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進

(総論)

○ 今後、介護サービスの需要が更に高まることが見込まれている一方で、生産年齢人口は急速に減少することが見込まれている。既に介護現場の人手不足が指摘されている中で、介護分野のみならず全産業的に人材確保が大きな課題となることを見込まれる。とりわけ、現役世代が流出する地方ではますますこうした問題が深刻になる可能性がある。

○ 介護人材の不足は、介護サービスの供給を制約する要因となることから、喫緊の対応が必要である。これまでも処遇改善やマッチング支援、介護のしごとの魅力発信などの総合的な人材確保策に取り組んできた。これと並行して、介護現場において、介護ロボットやICT等のテクノロジーの導入により、サービスの質を確保しつつ効率的なサービス提供を行うとともに、介護職員が行うべき業務の切り分けや、事務作業等の職員負担軽減を徹底することにより、介護職員が専門性を生かしながら働き続けられる環境づくりを早急に進めつつ、職員の働く環境の改善などにつなげていく必要がある。

○ このような観点から、介護人材の確保及び介護現場の生産性向上の取組を一層普及するために必要な方策について、現状を踏まえつつ検討を行った。

(1) 総合的な介護人材確保対策

○ 第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護人材の需要をみると、令和5(2023)年度末までに約22万人(合計で約233万人)、令和7(2025)年度末までに約32万人(合計で約243万人)、すなわち、令和元年度以降、年間5.3万人程度の介護人材の伸びが必要となっている。

○ さらに、令和3年度の介護分野の有効求人倍率(3.64倍)は、全職業(1.03倍)と比較して高く、特に、訪問介護職においては更に高い傾向があり、今後の我が国の人口動態を踏まえれば、介護人材の確保は一段と厳しくなることが想定される。

○ こうした現状において、介護人材を確保するためには、処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、介護職の魅力向上、外国人材の受入れ環境整備などの取組を総合的に実施する必要がある。令和3年度からは、他業種からの参入に向け、「雇用と福祉の連携による離職者への介護・障害福祉分野への就職支援パッケージ」を展開しているが、アウトカムを踏まえながら効果的な施策展開を図ることが重要である。

○ 介護職員については、職場の人間関係が離職理由の大きな要因でもあることから、離職防止の観点からは、ハラスメント対策を含めた働きやすい職場づくりに向けた取組を推進するとともに、人材確保に係る好事例について把握し、検証することも有効である。

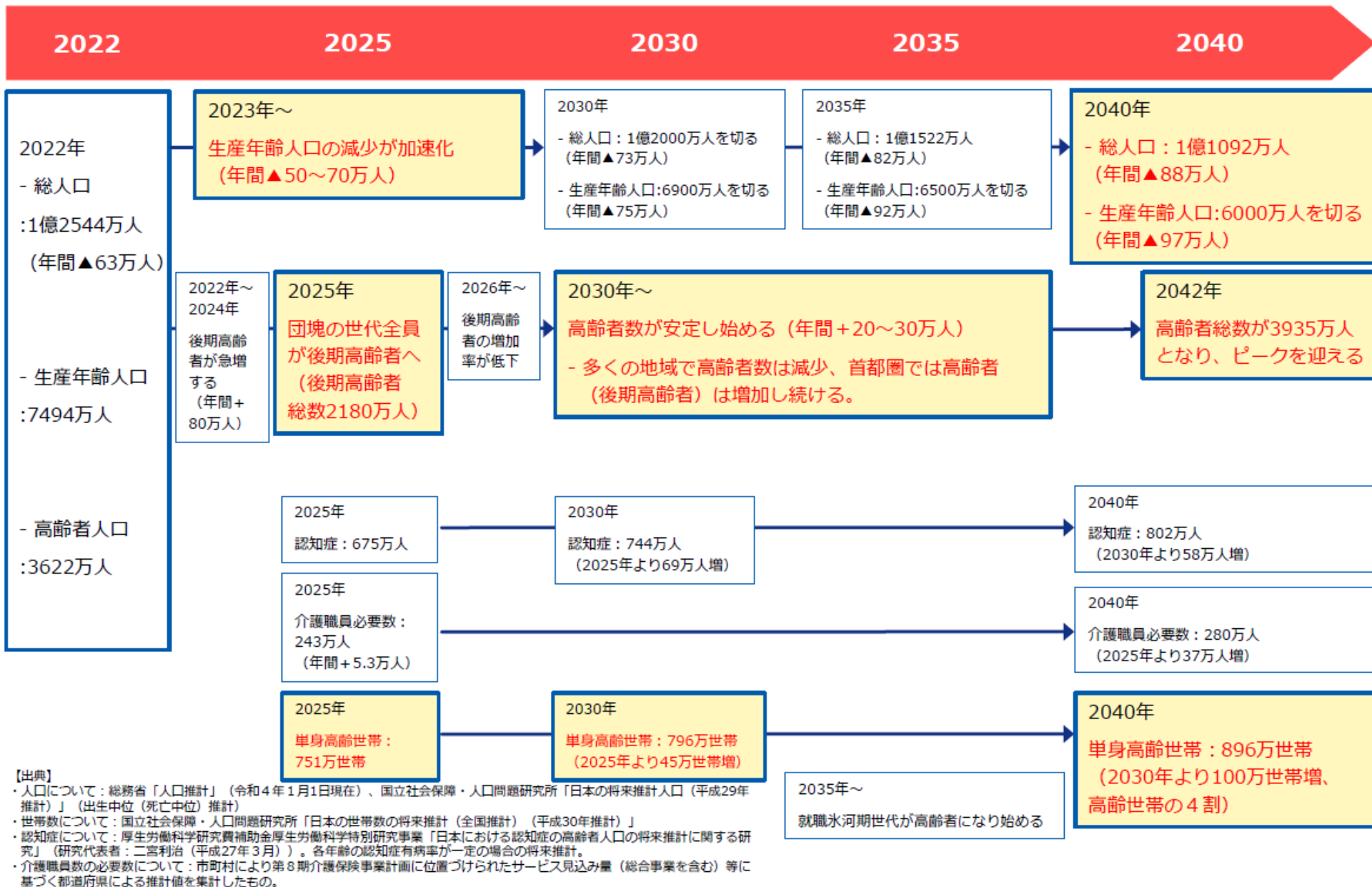
○ 他業種や外国人材といった多様な人材が参入する中、多様化・複雑化する介護ニーズに対応するためには、介護福祉士を介護職グループをマネジメントするリーダー的存在として育成するため、介護福祉士個人の専門性を評価する仕組みなど職場におけるキャリアアップや処遇の改善につながる仕組みを検討することが重要である。他方、資格は取得してもリーダーになることに積極的でない層の存在を踏まえながら、人材育成や事業所内の業務負担の在り方について検討することも重要である。

○ 引き続き、参入促進、資質の向上、介護職員の健康やメンタル面も含めた労働環境の改善を図るための事業を実施することに加えて、他業種からの参入を含めた多様な人材参入を更に促進するための介護職の魅力発信事業等の拡充を図るなど、介護人材確保のための支援策の更なる充実を進めることが重要である。

○ また、国内における人材確保に加え、海外からの人材確保についても、定着の状況などを把握しつつ、海外人材に対する介護分野での就労に関心を促す取組や介護事業所等とのマッチング支援等の受入促進の観点も含め、引き続き推進することが必要である。我が国で介護職として活躍することを希望する外国人介護人材に対し、引き続き受入・定着を促しながら、日本語学習や生活相談の支援とともに介護福祉士の資格取得支援等を推進することが必要である。

○ 上記の支援を含め、地域の実情に応じた介護人材確保対策が実施できるよう地域医療介護総合確保基金の中で様々なメニューを用意し、自治体を支援

(参考) 2040年までの人口等に関する短期・中期・長期の見通し



介護人材確保政策における、外国人介護人材の立ち位置

2000

少子高齢化
→「介護保険制度」創設
→介護人材不足問題

2023

介護現場における生産性向上の推進

2040

約280万人

約215万人

約50万人

2008

2017

2019

39,500人

EPA（インドネシア）：2008～
（フィリピン）：2009～
（ベトナム）：2014～
在留資格「介護」：2017.9.1～
技能実習：2017.11.1～
特定技能：2019.4.1～

特定技能1号 16,081人

技能実習 15,011人

在留資格「介護」 5,339人

EPA 3,069人

受入制度創設

受入・定着の促進
～キャリアパスの形成（資格取得支援）

受入・定着の推進

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

制度周知

○ポイントは「技能実習」と「特定技能」

→介護保険（高齢者介護サービスの提供現場）に、直接、外国人介護人材が投入されたこと。

○「介護保険制度」

- ・様々なサービス提供形態があること。（施設系／在宅系）
- ・様々な事業主体（経営主体）があること。（社会福祉法人／医療法人／営利法人／NPO 等）
- ・3年毎に制度改正（報酬改定）が行われていること。

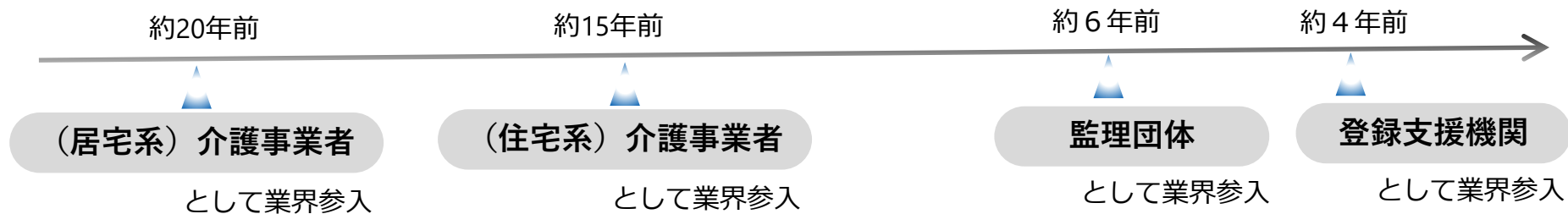


○この他

- ・技能実習：1号→2号→3号
- ・コロナ～入国制限 等

介護関連業界は、外国人材受入制度の影響で、拡大中

他産業分野から介護分野への参入



技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議（第3回）

令和5年2月15日（水）

2 監理団体の概要

① 監理団体数

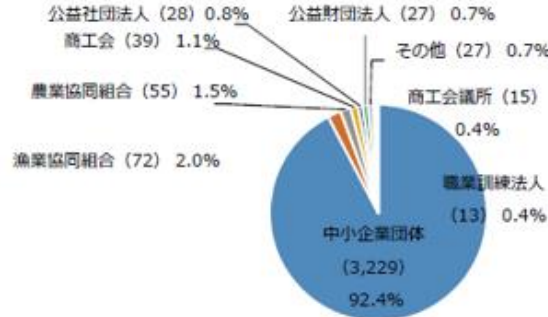
平成26年	平成27年
1,885	1,889

↓

令和2年度	令和3年度	令和4年11月
3,276	3,505	3,599

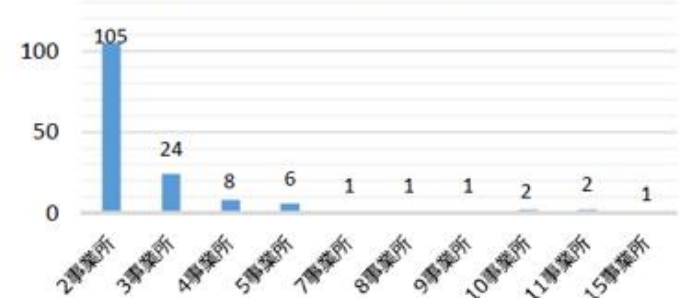
(出典) 出入国在留管理庁において業務上集計したもの（平成26、27年）
外国人技能実習機構「令和2年度業務統計」「令和3年度業務統計」
出入国在留管理庁ホームページ（令和4年11月）

② 団体種別内訳（令和3年度）



(出典) 出入国在留管理庁において業務上集計したもの

③ 複数の監理事業所数を有する監理団体の事業所数の内訳（令和2年度、暫定値）



(出典) 外国人技能実習機構の保有データを基にして集計したもの

2 登録支援機関の概要

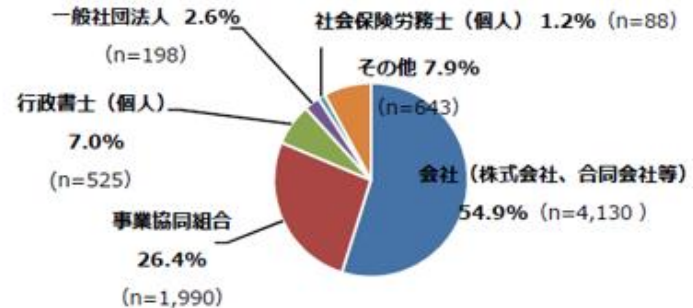
① 登録支援機関の数 **7,692機関**（令和4年11月22日時点）（出典）出入国在留管理庁ホームページ

② 登録支援機関を利用している受入れ機関の割合

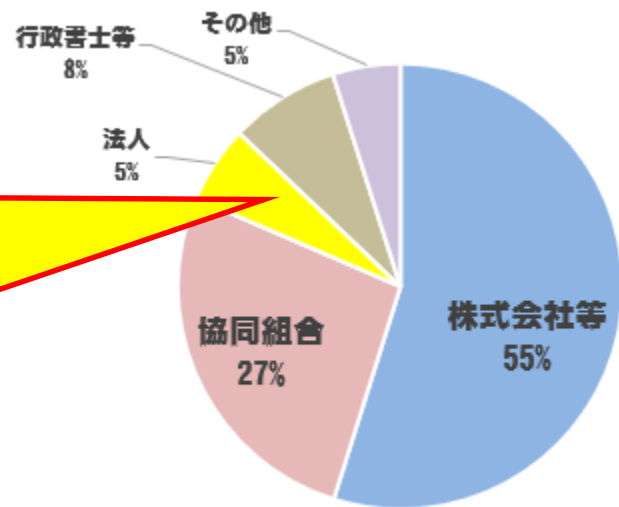
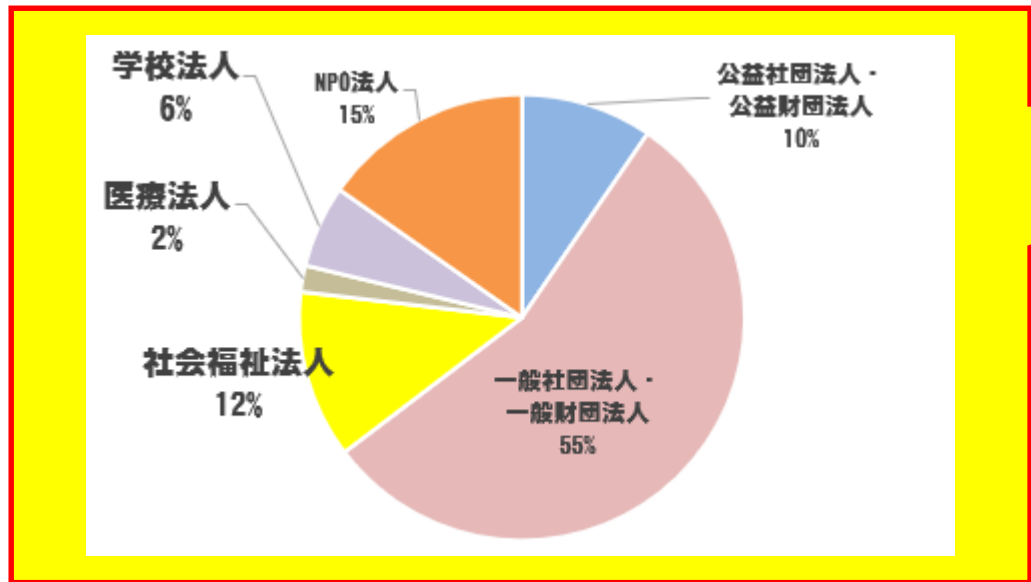


(出典) 出入国在留管理庁「特定技能制度及び技能実習制度に関する意識調査」（令和4年7月）

③ 登録支援機関の類型（令和4年9月末現在、速報値）



※ 個人の登録支援機関については、複数の類型に該当する者があるため、登録支援機関数とは一致しない。
(出典) 出入国在留管理庁保有データ



介護事業者向けのメッセージ①

2021調査研究：特定技能における登録支援機関の存在

特定技能外国人とともに育つ よりよい職場づくり

特定技能外国人の受入れに必要な
支援に関するガイドブック



国際厚生事業団
INTERNATIONAL WELFARE GROUP

登録支援機関の取組み③ (地域との連携)

独自の学習システムの構築と海外4か国での学校運営

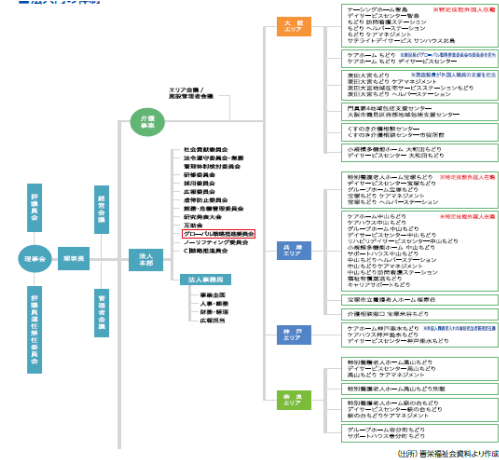
株式会社ONODERA USER RUN (ONODERA GROUP)



医療・介護事業者の取組み①

法人内の「グローバル戦略推進委員会」による外国人職員の受入れ

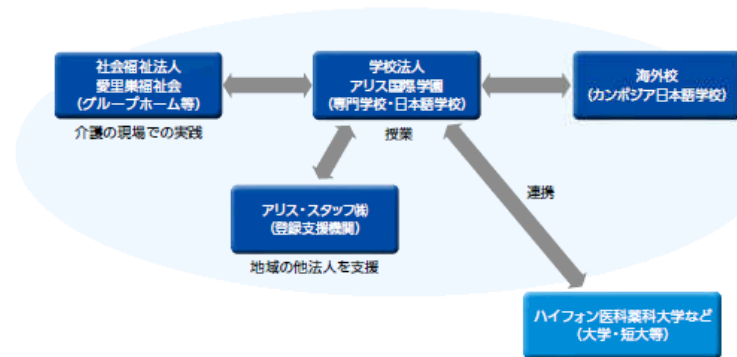
社会福祉法人 晋栄福祉会



学校法人の取組み

外国人材の深い理解に基づくキャリア教育としての介護福祉士養成

学校法人アリス国際学園 (アリス学園グループ)



介護事業者向けのメッセージ②

2021調査研究：技能実習2号修了を見据えた準備を。。。。

受入事業所のための 介護技能実習生キャリア支援ガイド 2022 技能実習修了を見据えて



介護分野における技能実習制度の実態等に関する調査研究 検討会
事務局：みずほキャリアネットワーク株式会社
(厚生労働省令和3年度老人保健健康増進等事業)

【座談会】外国人介護職員の活躍を支えるプレイヤーの役割



天野 ゆかり
静岡国立大学
経営情報学部
大野明経准教授
イノベーション研
究科 講師



中元 秀昭
さくらCSホールディ
ングス株式会社
代表取締役

受入事業所者
監理団体
送出し機関



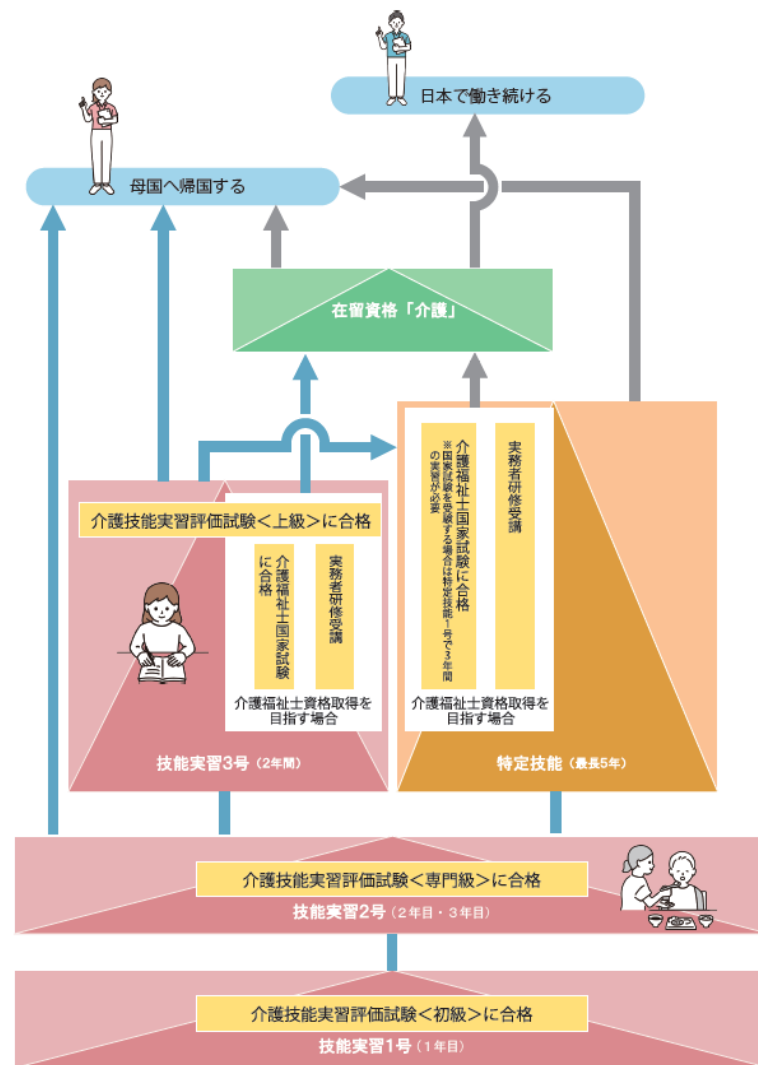
新美 純子
公益社団法人トレイ
ディングケア
代表理事



甘利 庸子
のぞみグループ
代表取締役

受入事業所者
監理団体

- ・技能実習生との定期的な面談実施／入職時の教育体制構築とスキルの評価／特定技能に移行し、後輩外国人介護職員を指導（**社会福祉法人新生福祉会**）
- ・在留資格ごとに期待する役割と、役割に応じた待遇の設定／外国人介護職員の役職員への登用／業務中の意思疎通を木郎としたインカムの導入（**社会福祉法人奉優会**）
- ・技能実習生への2号修了後の意向確認／日本語能力向上のためのオンライン学習会やスピーチコンテストの開催／インドネシアにおける障害者向けサービスの情報収集（**公益社団法人トレンドینگケア**）
- ・在留資格移行における登録支援機関の立ち位置と役割（**株式会社グローバルトラストネットワークス**）
- ・介護専門教育機関の活用、および日ごろのモチベーション維持／多言語対応の介護記録用ソフトウェアを開発／現地職業訓練校での活躍を念頭に受入れ（**さくらCSホールディングス株式会社**）
- ・日本語の教育体制、およびインセンティブの導入（**医療法人社団佐藤病院グループ**）
- ・介護福祉士資格取得を支援するための仕組み構築（**社会福祉法人洗心会**）
- ・作文執筆課題を取り入れた日本語学習プログラム（**社会福祉法人西春日井福祉会**）



介護保険における地方自治体の重要性①

2022→2023予算編成：総合確保基金への統合化

国による直轄事業

学習支援

- ・外国人介護福祉士候補者受入支援事業
- ・外国人介護福祉士候補者学習支援事業

介護の日本語学習支援等事業

特定技能制度の円滑施行

介護技能評価試験等実施事業

外国人介護人材受入・定着支援等事業

地方自治体への
財政支援

地域医療介護総合確保基金

入国支援（マッチング・財政補填）

外国人留学生及び特定技能外国人の受入環境整備事業

外国人留学生及び特定技能1号外国人のマッチング支援事業

外国人留学生への奨学金の給付等に係る支援事業

環境整備

外国人介護人材受入施設等環境整備事業

①コミュニケーション支援

②資格取得支援・生活支援

③教員の質の向上支援

学習支援

外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業

外国人介護人材研修支援事業

障害者施設等の外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業

第9期計画において記載を充実する事項（案）

■ 第9期の基本指針においては、介護保険部会の「介護保険制度の見直しに関する意見」等を踏まえて、主に以下の事項について記載を充実してはどうか。

1 介護サービス基盤の計画的な整備（P8～14）

- 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要性（P8～11, 14）
- 医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化（P12）
- サービス提供事業者を含め、地域の関係者とサービス基盤の整備の在り方を議論することの重要性（P11）
- 居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することの重要性（P13）
- 居宅要介護者の在宅生活を支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及（P13）

2 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組（P15～31）

- 総合事業の充実化について、第9期計画に集中的に取り組む重要性（P15）
- 地域リハビリテーション支援体制の構築の推進（P16）
- 認知症高齢者の家族やヤングケアラーを含む家族介護者支援の取組（P17）
- 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備等（P17）
- 重層的支援体制整備事業などによる障害者福祉や児童福祉など他分野との連携促進（P17）
- 認知症施策推進大綱の中間評価を踏まえた施策の推進（P18）
- 高齢者虐待防止の一層の推進（P19～22）
- 介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進（P19, 23）
- 地域共生社会の実現という観点からの住まいと生活の一体的支援の重要性（P24）
- 介護事業所間、医療・介護間での連携を円滑に進めるための情報基盤を整備（P25）
- 地域包括ケアシステムの構築状況を点検し、結果を第9期計画に反映。国の支援として点検ツールを提供（P26～28）
- 保険者機能強化推進交付金等の実効性を高めるための評価指標等の見直しを踏まえた取組の充実（P29, 30）
- 給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化、介護給付費の不合理な地域差の改善と給付適正化の一体的な推進（P31）

3 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進（P32～43）

- ケアマネジメントの質の向上及び人材確保（P32）
- 外国人介護人材定着に向けた介護福祉士の国家資格取得支援等の学習環境の整備（P35, 36）
- 介護現場の生産性向上に関する様々な支援・施策に総合的に取り組む重要性（P37）
- 介護の経営の協働化・大規模化により、サービスの品質を担保しつつ、人材や資源を有効に活用（P38）
- 文書負担軽減に向けた具体的な取組（標準様式例の使用の基本原則化、「電子申請・届出システム」利用の原則化）（P39）
- 財務状況等の見える化（P40, 41）
- 介護認定審査会の簡素化や認定事務の効率化に向けた取組の推進（P42, 43）



センター情報誌「With You」

With You 第17号 (2022.3)



機関紙「京都の福祉」

2022/04/18 京都の福祉 2021年11月号 No.599



京都府外国人介護人材支援センター インタビュー

【外国人職員さんインタビュー】社会福祉法人 京都太陽の園 「障害者支援施設 京都太陽の園」、「障害者支援施設 こひつじの苑」



インタビューに御協力いただいた外国人介護職員さん (左からカップさん、リンさん)

(写真撮影のためにマスクをはずしています)



知事

副知事

副首都推進局

危機管理監

政策企画部

万博推進局

総務部

財務部

スマートシティ戦略部

府民文化部

IR推進局

福祉部

健康医療部

商工労働部

環境農林水産部

都市整備部

大阪都市計画局

大阪港湾局

OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会について（2022年9月8日）

団体名
大阪府
大阪市
大阪府市長会
大阪府町村長会
大阪出入国在留管理局
大阪労働局
近畿厚生局
近畿農政局
近畿経済産業局
近畿地方整備局
近畿運輸局
大阪航空局
大阪商工会議所
公益社団法人関西経済連合会
一般社団法人関西経済同友会
日本労働組合総連合会大阪府連合会
公益財団法人大阪産業局
公益財団法人大阪観光局
日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部
外国人技能実習機構大阪事務所

大阪府社会福祉審議会 介護・福祉人材確保等検討専門部会

部会報告書「大阪府介護・福祉人材確保戦略」

3. 戦略の推進体制

本戦略を踏まえた取組みの着実な実施と推進にあたっては、平成30年4月23日に設置した「介護・福祉人材確保戦略に係るワーキンググループ」を令和5年度から「介護・福祉人材確保庁内連絡会議（仮称）」として再編成し、人材確保に関する部局を超えた連携を更に図るとともに、取組みの進捗状況の点検と評価を行い必要な対応を行います。また、本戦略の見直しにあたり外部有識者、関係団体を構成員として設置した「介護・福祉人材確保の見直しに関する連絡会議」の特組みを発展し、府の取組みを点検・評価する場として活用していきます。

「介護・福祉人材庁内連絡会議（仮称）」の概要

- ・目的：介護・福祉人材確保戦略を踏まえた取組みの総合的かつ効果的な推進と、庁内各部署相互の連絡及び調整を行うための設置
- ・検討内容
 - (1)大阪府介護・福祉人材確保戦略を踏まえた取組みに関する事
 - (2)関係各課における国の通知等最新情報の共有に関する事
 - (3)その他、介護・福祉人材確保の推進に関する事
- ・構成員（案）

福祉部	地域福祉推進室福祉人材・法人指導課（事務局）
	福祉総務課
	高齢介護室介護支援課
	高齢介護室介護事業課
	障がい福祉室障がい福祉企画課
子ども家庭局子育て支援課	
商工労働部	雇用推進室労働環境課
教育庁	教育総務企画課

やまがた方言 マニュアル Yamagata Dialect Manual

山形県立山形大学山形方言研究センター
山形県立山形大学山形方言研究センター
山形県立山形大学山形方言研究センター
山形県立山形大学山形方言研究センター
山形県立山形大学山形方言研究センター
山形県立山形大学山形方言研究センター

会話 でよく使われる言葉

1 単語 **じょんだごと** 山内 じょんだ
jondagoto 村上 じょんだ

上手 Very good.



2 単語 **そさ** 山内 ほかさ
sosa 村上 ほかさ

そこに There.



3 単語 **たんに/たんにえ** 山内 たんね
tanni / tannie 村上 たんね

たりない Not enough.



4 単語 **なして/なしてや** 山内 なして
nashite / nashiteya 村上 なして

何で / どうして Why?



5 単語 **ぶじょぼ/ぶじょぼな/ぶじょぼ** 山内 ぶじょぼ
bujyobu / bujyobuna / bujyobu 村上 ぶじょぼ

失礼しました I'm sorry.



6 単語 / 山内 / 山内 / 村上 **んだ**
nda 村上 んだ

そうです That's right.



7 単語 **んね/ほんね** 山内 んね
nne / honne 村上 んね

違う To be different / wrong



8 単語 **しゃーね** 山内 しゃーね
syane 村上 しゃーね

知らない I don't know / unknown.



9 単語 **け/くえ** 山内 け
ke / kue 村上 け

食べてください Please eat.



人・物・場所 をあらわす言葉

1 単語 **おぼこ** 山内 おぼこ
oboko 村上 おぼこ

子供 child



2 単語 **うわっぱり** 山内 うわっぱり / うわぎ
uwappari 村上 uwappari / uwagi

上着 jacket



3 単語 **しゃじ** 山内 しゃじこ / さじ
shajiko 村上 shajiko / saji

スプーン spoon



4 単語 **おまま / おまんま / まんま** 山内 おまま
omama / omamama / manmama 村上 おまま

ご飯 meal / food



5 単語 **ながし** 山内 おかて / ながし
nagashi 村上 おかて / nagashi

台所 kitchen



6 単語 **じょうぐち** 山内 げんかん
jouguchi 村上 げんかん

玄関 entrance



動作・行動 をあらわす言葉

1 単語 **たてる** 山内 たてる
tateru 村上 たてる

(扉・戸・窓) 閉める To close.



2 単語 **じょうさね/じよさね** 山内 じょうさね
jousane / jousane 村上 じょうさね

簡単 / たいたしたことない Easy



3 単語 **もっかえる** 山内 もっかえる
mokkaeru 村上 mokkaeru

倒れる To fall



4 単語 **なげる/うだる** 山内 なげる
nageru / udaru 村上 なげる

捨てる To throw away



5 単語 **さんね/さんにえ** 山内 さんね
sanne / sannie 村上 さんね

できない I can't.



6 単語 **つちって/しよでって** 山内 つちって
tsuchitte / shiyodette 村上 つちって

連れて行って Take me.



感情・気持ち をあらわす言葉

1 単語 **いがった/いがったごと** 山内 いがった
igatta / igattagoto 村上 いがった

よかった / よかったね Good.



2 単語 **いやんばい** 山内 やんばい
yanbai 村上 やんばい

いいあんばい Just right.



3 単語 **おしょうな/おしょうなし** 山内 ありがとう
oshouna / oshounashi 村上 ありがとう

ありがとう Thank you.



4 単語 **こわい** 山内 くだびった
koiwai 村上 くだびった

疲れた I'm tired.



5 単語 **がおる** 山内 がおる
gaoru 村上 gaoru

弱る / 具合が悪くなる I don't feel well.



6 単語 **やだ** 山内 やんだ
yada 村上 yanda

嫌だ I don't want to.



- 介護福祉士資格取得支援



“まずは”道筋づくりから

○ポイントは「技能実習」と「特定技能」

- ・在留資格「介護」：仕組み、そのもの
- ・EPA介護福祉士：仕組みとして、含有済
- ・技能実習・特定技能→受入制度上定められた条件以上のキャリアパス環境整備が必要



○別途、検討課題。。。。

- ・技能実習・特定技能を含む、この国の在留資格のあり方
- ・外国人介護人材の投入だけにとらわれない、この国の介護保険制度・介護人材確保対策のあり方
- ・そもそもの国家資格「介護福祉士」のあり方 等

学習支援（これまで～現在） 学習支援ツール等の開発



- 「介護過程を理解するための手引き」を作成予定。
～EPA介護福祉士候補者の就労前の介護導入研修等における学習支援を補填。



- N2レベル学習に対応予定。



- 「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生学習ハンドブック」を作成予定。
～介護福祉士養成施設で専門知識・技術を学ぶ意味の理解や自己学習の方法について記載。



論点整理

2022調査研究：外国人介護人材の介護福祉士取得に向けた調査研究事業

- ・外国人介護人材の介護福祉士国家資格取得に関する現状と課題を把握・整理。
- ・引き続き在留を希望する外国人のための支援策やキャリア支援のあり方について検討。
 - 有識者・関係団体等からなる「検討委員会」の設置 + 関係団体や先行取組例（ゲスト）へのヒアリングの実施 等

現状（課題整理）

- ・受験資格による違い
- ・日本語能力
- ・試験上の配慮
- ・受験要件（介護福祉士実務者研修） 等

学習支援のあり方

- ・来日前のバックグラウンドの違いを踏まえた体系的な支援
- ・来日後の職場や関係機関からの支援
- ・資格取得前後のキャリアパスの明確化 等

関係者や本人に求められる役割

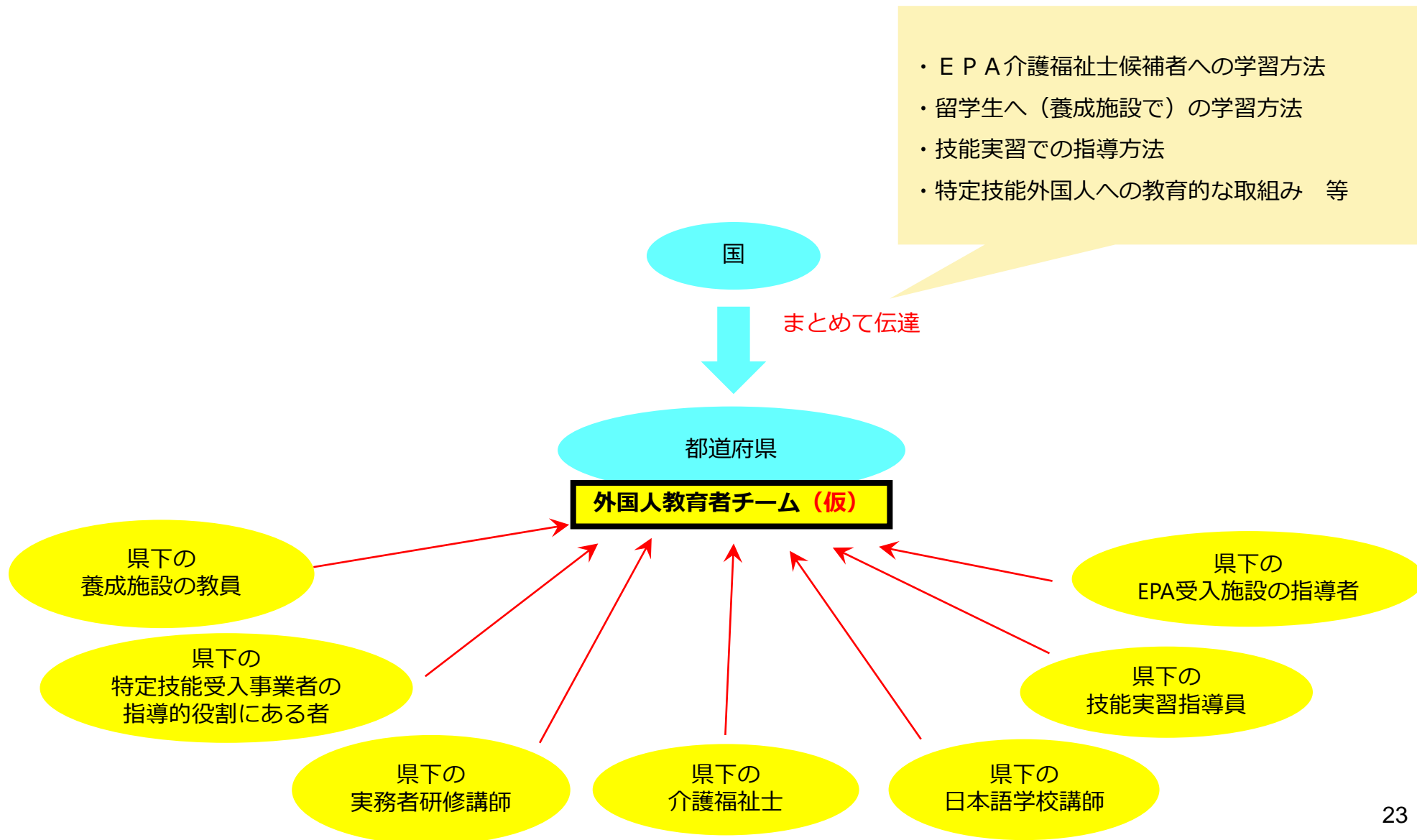
- ・介護事業者
- ・業界団体、職能団愛、需給調整機関等
- ・監理団体、登録支援機関
- ・介護福祉士養成施設
- ・日本語教師、教育機関
- ・行政（国・自治体）
- ・本人



等

⇒ 2022年度末には報告書を取りまとめ（予定）

2023～（構想を模索中）



2022年4月現在の「実務者養成施設一覧（1278課程）」を設置者別に再整理してみた。

株式会社、有限会社	社会福祉法人、医療法人	学校法人	公財公社一財一社	地方公共団体
(株) 日本教育クリエイト	(福) 京都基督教福祉会	(学) アリス国際学園	(公社) 福岡県介護福祉士会	茨城県
(株) 学研ココファン	(福) 健祥会	(学) 国際医療福祉大学	(公社) 神奈川県介護福祉士会	岩手県
(株) さくらコミュニティサービス	(福) 天竜厚生会	(学) 三幸学園	(公社) 新潟県介護福祉士会	岡山県
(株) シダー	(福) サン・ビジョン	(学) 北斗文化学園	(一社) 静岡県介護福祉士会	神奈川県
(株) ベネッセスタイルケア	(福) 聖隷福祉事業団	(学) 和歌山キリスト教青年会	(一社) 千葉県ホームヘルパー協議会	岐阜県
(株) 穴吹カレッジサービス	(福) 京都福祉サービス協会	(学) 旭川荘		倉敷市
(株) 木下福祉アカデミー	(福) キリスト教ミード社会館	(学) 日本福祉大学		埼玉県
(株) 大起エンゼルヘルプ	(福) 浴風会	(学) 敬心学園		広島県
(株) ポラリス	(福) 京都老人福祉協会	(学) 穴吹学園		福岡県
(株) ソラスト	(福) 香南会	(学) 大原学園		愛媛県
(株) ニチイ学館	(福) 埼玉医療福祉会			京都府
(株) ニッソーネット	(福) 小田原福祉会			香川県
(株) 日本介護センター	(福) 青山里会			東京都産業労働局雇用就業部
(株) やさしい手	(福) こうほうえん			※東京以外は高等学校
(株) ドルフィン・エイド	(福) 長岡福祉協会			
HITOWAケアサービス(株)	(福) 日の出福祉会			
アサヒサンクリーン(株)	(福) 星風会			
麻生介護サービス(株)	(福) 晋栄福祉会			
麻生教育サービス(株)	(医社団) 洛和会			
ウェルコンサル(株)	(医) 徳洲会			
エフビー介護サービス(株)	(医) 博仁会			
セントスタッフ(株)				
22	21	10	6	13

計 72

- ・自法人もしくはグループ系列に「登録支援機関」
- ・特定技能外国人の受入実績あり
- ・その他、役所側での取組～ガイドブック、検討委員会などに関与 等

- 資格取得支援以外

とりわけ、介護保険の制度運営あたり、

『現場サイド・利用者サイドの声を聴け！！』

→この先もずっとそう！

ましてや、外国の方々を相手に、、、

こういう話が、国内だけにおさまらないのだけど

→この先もたぶんそう？

業界への情報発信～「介護分野における特定技能協議会メールマガジン」

2022.09.30 Vol.1

→2,280法人

- ・介護分野における特定技能外国人数等
- ・特定技能における受入れ見込数の見直し及び制度の改善について
- ・事例のご紹介～令和2年度、令和3年度の巡回訪問より～
- ・介護分野で働く外国人を取り巻く状況等にかかるガイドブック等について
- ・施設種別コードの再調査にご協力をお願い致します。
- ・外国人介護人材無料相談サポート窓口のご紹介
- ・そのほかのご案内～各種お手続きはお済ませですか～

(関係者のメッセージ)



本調査研究
検討委員会
座長 白井 享子

○本ガイドブックの見どころ、特に受入れ機関の方に読んでいただきたい箇所を教えてください。
本ガイドブックの末尾 P.30～32 には、特定技能に関する各別国の情報と制度の全容・相談先等が掲載されていて、受入れ機関の皆様にとってはご関心のおありになる部分ではないかと思えます。また、既に外国人材の雇用を開始された受入れ機関においては、前半に掲載されている『特定技能外国人の現状』をご参考頂きたいです。特定技能外国人がどのような背景をもつ人材なのか、日本でのようなキャリアを積んでいきたいと考えているのか、という点をご参照いただき、人材確保に留まらず受入れ後の支援も見据えていた点で、特定技能外国人の定着につながるのではないかと考えます。

○今回の調査研究を通して見えてきた特定技能外国人を取り巻く課題について、お聞かせください。
介護福祉士国家試験に関する設問で、69.5%が国家試験を受けたいと考えている点で、意欲が高い人材が多いと感じました。さらに、国家資格を取得したい理由として、「日本で長く働きたいから」と回答している割合が7割近いという点も興味深く、受け入れる側は、外国人の方々の希望やキャリアパスを確認する必要があります。

一方で、介護福祉士国家資格取得に向けた学習の支援ということになると、法人内や施設内では負担が大きい部分もあるかと思えます。その際は、各地域にある介護福祉士養成校でもお力になれるかと思えます。また、外国人人材指導のポイントをまとめた資料や外国人の介護福祉士国家試験資格取得に向けた教材等の情報も、ぜひご活用いただけると良いのではないかと思います。

○本調査研究が実施された背景と主な趣意を教えてください。
特定技能制度が施行されて3年が経過し、受入れの実態を把握できるような調査の必要性を感じ、本調査事業に手を挙げました。多くの受入れ機関や外国人、登録支援機関のご協力があり、また各委員からも活発な議論が交わされ、そのおかげで特定技能制度の現状を把握し今後の課題を見据えるための成果物を残すことができたと考えております。



本調査研究事務局
（公社）国際厚生事業団
専務理事 田辺 隆

○特に興味深い調査結果があれば、お聞かせください。
日本語レベルは高い傾向にあり、日本語能力試験 N3 相当以上の者が全体の8割弱を占める結果となっていることは一つの興味深い結果でした。しかしこれには、新型コロナウイルス感染症の影響により海外からの新規入国者ではなく、留学生や技能実習生からの国内変更者が多いことが背景にあると考えられます。今後新規入国者が増えるに当たり、日本語能力に注目していく必要があると思います。

また、今回の調査では、外国人の学歴や母国での看護・介護の資格取得有無についても伺いましたが、約4割が大学や大学院卒、5割が看護・介護の資格取得者という結果となりました。

そして最も興味深かったのは、介護福祉士国家試験の受験についてです。約7割の特定技能外国人が「国家試験を受けたい」と回答しており、資格取得に対する意欲の高さは注目すべき点と感じました。同時に、今後介護福祉士国家試験取得に向けた学習面でのサポートのあり方も課題になってくのではないかと考えます。

2022.11.30 Vol.2

→2,632法人

- ・介護分野における特定技能外国人数等
- ・「日本における介護の紹介資料」掲載について
- ・海外ジョブフェア及び国内マッチングイベントの開催について
- ・受入れ事例紹介 一地域で長く定着してもらうための取り組み
- ・ご案内～特定技能外国人の一時帰国における留意点～
- ・特定技能制度の適切な運用をお願い致します。
- ・特定技能協議会 構成員一覧について

特集：受入れ事例紹介

一地域で長く定着してもらうための取り組み

特定技能外国人の受入れ機関の取り組みや支援内容のご紹介として、今回、滋賀県高島市の社会福祉法人ゆたか会にご協力を頂き、受入れ当初から大切にされている支援の内容や今後の課題に至るまでお聞かせ頂きました。

社会福祉法人ゆたか会は、2019年に技能実習生の受入れを開始され、2021年6月より特定技能外国人の受入れへ移行後も技能実習生の受入れの際の法人内の指導体制を踏襲しておられ、生活の支援を重視されているとのこと。生活面の指導で円滑な就労や地域への定着にも還元されているようです。一方で、今後の課題は、外国人職員の人数が増加する中での現場での指導体制や、外国人職員へごまでの業務を任せ行く、そして国家試験対策に関する支援とのこと、等々。試行錯誤をされながら外国人職員からの相談事一つひとつ丁寧に向き合っておられる中で、実施されてきた支援や課題を取材させていただきました。

前半部分の P.3～P.6 では、ご担当者様よりお聞きした法人としての支援（受入れ体制、業務上の指導、生活支援、日本語や学習面の支援）について、後半部分の P.7～P.9 では、特定技能外国人3名の方にお伺いした内容を掲載していますので、ぜひご参照ください。

法人概要

社会福祉法人ゆたか会

滋賀県の琵琶湖の西側に位置する高島市で、現在、特養・小規模多機能・居宅介護・ケアハウス・障害者支援施設・就労支援など、33事業を展開されています。初めて受け入れた外国人職員はブラジル人の方1名で、受入れ開始から10年。

インタビューにご対応いただいた2022年10月末時点では、特別養護老人ホーム清風荘で、特定技能外国人は11名（ベトナム・中国・ミャンマー）、留学生を2名（比）、永住者を1名（ブラジル）、介護福祉士資格取得者を1名（ベトナム）雇用されています。

また、新たに11月より、特別養護老人ホーム清風荘にて特定技能外国人1名（ミャンマー）と、障害者支援施設（清風園）でも特定技能外国人2名の受入れをされています（ミャンマー・中国）。



今回インタビューを受けてくださった皆様。
左から、林研修課長、山川施設長、カンザン
ザーさん、フウさん、水野センター長

2023.01.31 Vol.3

→2,927法人

- ・介護分野における特定技能外国人数等
- ・「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」の開催について
- ・「第35回介護福祉士国家試験が行われました。」
- ・「外国人介護人材向けの教材のご紹介」
- ・「「JAPAN CARE WORKER GUIDE 2022～オンライン現地説明会～」の見学報告」
- ・「特定技能外国人巡回訪問質問票ご提出のお願い」
- ・「協議会システム改修に伴う質問票へのご回答依頼について（予告）」
- ・「コラム：外国人職員の方への業務指導を行う中での日本語」
- ・「よくあるご質問より：脱退一時金に関する制度と申請時の留意点について」

ICTと外国人介護人材（の、融合）

一般的に若い人のほうがICT機器の使用に向くイメージがあるかもしれませんが、当社では年齢は関係なく、ICT化に意欲的な年配の方もいればアナログな若者もいます。ただ、外国の方はICT機器の扱いを覚えるのが早く、当社にはネパール人とベトナム人のスタッフがいますが、まったく抵抗なく、すぐ使いこなします。

宮本●外国の方は日本人のようなICT化に対するバイアスがないからでしょうね。われわれの場合も、ICT化を始めた2009年当時は、まだ「介護ロボット」という言葉もなかった時代でしたが、



外国人材育成（で、組織運営を振り返り）

真面目に働く外国人介護人材を通じて、むしろ日本の介護現場が姿勢を正す思いに。。。 (BY 介護現場の声・多数)

- ・「介護」
= 基本：オーダーメイド + 中～長期での生活・生体変化への対応が必要なので、**大変**。
- ・「介護サービス現場」
= 基本：多職種協働、かつ、そのパートナーも拡充傾向なので、**大変**。(ex 最近では、生産性向上・ICT?)

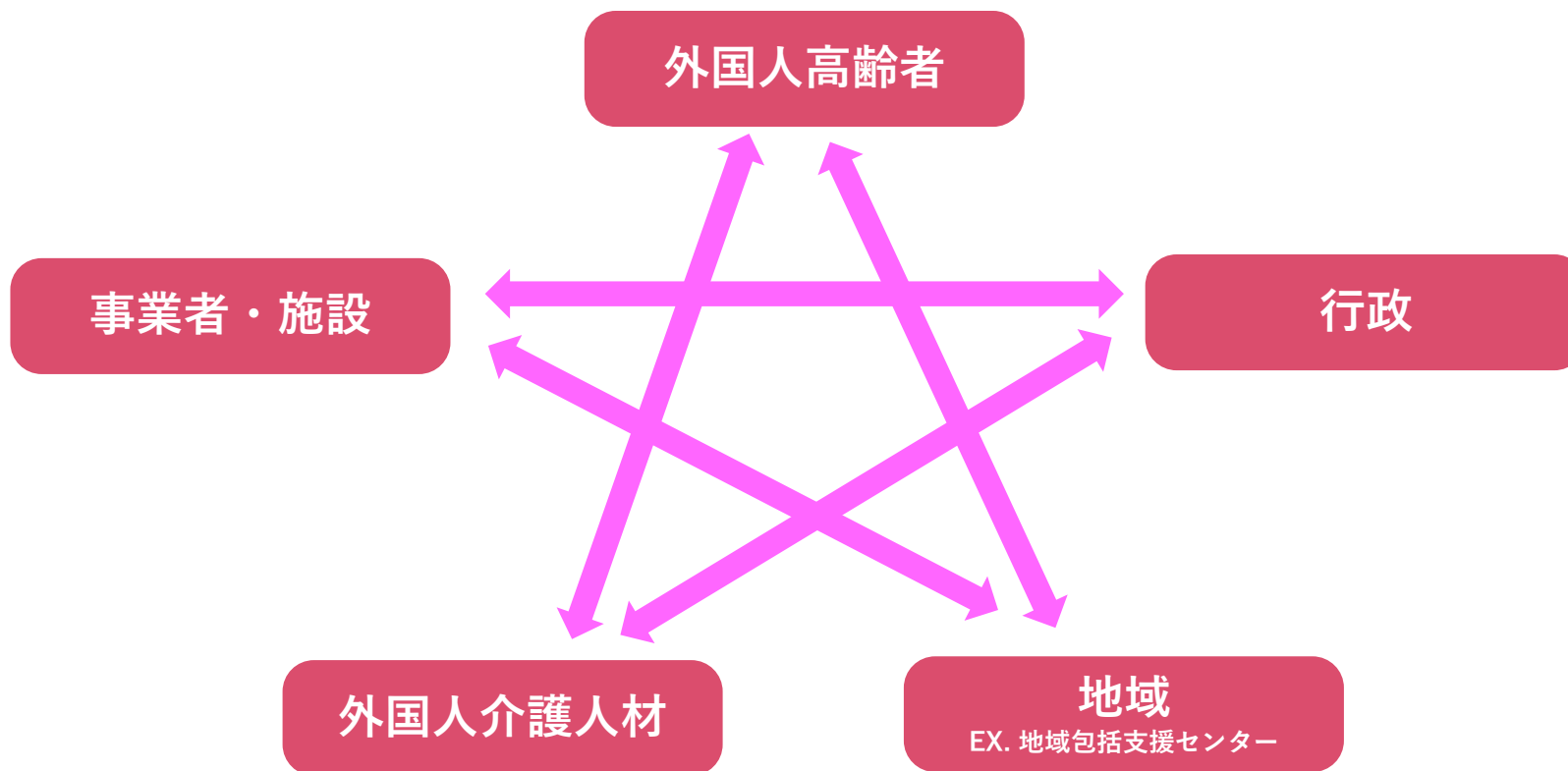
⇒法人単位・事業経営単位の取組みで、外国人を含む介護人材の支援体制が、更に進化するのは、いい話。

～質介入により組織の行動変容を促す取組み～



外国人高齢者（も、年はとる）

- 「地域包括ケアシステム」 だとか
- 「地域共生社会」 だとか
- 「多文化共生社会」 だとか



その他、当面の政策の行方（と妄想）

- 現場への情報発信の拡充（Ex メルマガ、国内外情報ネットの官民コラボの推進（※例））
- 地方自治体を通じた支援の拡充（外国人の介護福祉士取得支援を含む。）
- 事業経営へのテコ入れ（EX. 多様な法人経営主体に目を向けた外国人介護人材育成手法の紹介など）
- 地域〇〇対策（Ex.外国人も高齢化する中、外国人介護人材にも生活者としての将来、職業人としての役割が。。。）



- アフターコロナでの外国人介護人材受入現場の実態把握
- 外国人介護福祉士本人への直接的な実態把握
- 受入・定着支援のその先のフォローアップ（Ex 再チャレンジ（受験、入国等）
- 世界情勢の変化（Ex コロナ、ウクライナ、トルコ地震云々）→日本の介護の再検証

以下、妄想

- 外国人介護人材による日本の介護の評価検証
（勿論、日本人にとっても、魅力があり、やりがいがあり、楽しい職場であり、安定収入があり、将来人生設計が可能なのはなので...）
- 「日本語」と「介護」のエビデンス（アカデミックなやつ）
 - ⇒ 国籍を問わないグローバル型スマート介護福祉士（バイリンガル介護福祉士）の養成

主役は外国人



事業経営が成立しないので、外国人を雇用しました。
学校経営が成立しないので、留学生を入学させました。

の、“撲滅キャンペーン”の一環

Japan Care Worker Guide



Japan Care Worker Guide

<https://japancwg.com/>



JAPAN AWAITS.

様々な国出身の日本で働く介護職員のインタビューを見てみましょう

INTERVIEW

115,867 13 2,750 21

SNS ファン数 セミナー開催数 セミナー参加人数 インタビュー数



Japan Care Worker Guide アンバサダー



LEONOR MERIE ANN DE LEON

出身国：フィリピン
来日：2018年
日本語能力：N3
長野県在住



NGUYEN THI DONG

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N2
山口県在住



NGUYEN THI Y THIEN

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N3
山口県在住



KYI KAI KHAING

出身国：ミャンマー
来日：2015年
日本語能力：N2
兵庫県在住



NGUYEN THI THUY LINH

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N2
北海道在住



LOVELY ESTORGIO

出身国：フィリピン
来日：2016年
日本語能力：N3
長野県在住



RY SOPHEAP

出身国：カンボジア
来日：2020年
日本語能力：N3
北海道在住



MARIE STELLA VI S. MORENO

出身国：フィリピン
来日：2016年
日本語能力：N2
長野県在住



NGUYEN THI HOA

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N2
山口県在住



CAO XUAN HOI

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N1
山口県在住



MONIKA JULIA WATI

出身国：インドネシア
来日：2018年
日本語能力：N3
長野県在住



LA THI SU

出身国：ベトナム
来日：2021年
日本語能力：N3
山口県在住



PORNPANITTA TORPITHAKPONG

出身国：タイ
来日：2019年
日本語能力：N2
茨城県在住



TRAN THI THU HOAI

出身国：ベトナム
来日：2019年
日本語能力：N3
北海道在住



ASHINI NIMESHA

出身国：スリランカ
来日：2021年
日本語能力：N3
長崎県在住



HAQUE MD ARIFUL

出身国：バングラデシュ
来日：2018年
日本語能力：N2



TRAN TRUC NHU

出身国：ベトナム
来日：2021年
日本語能力：N3
山口県在住



KOMANG AYU PURNAMA DEWI

出身国：インドネシア
来日：2018年
日本語能力：N2
岡山県在住



KAUINDYA SITHUMINI

出身国：スリランカ
来日：2021年
日本語能力：N3
長崎県在住



MOEURN SREY POV

出身国：カンボジア
来日：2020年
日本語能力：N4
北海道在住

注：イメージ

チャン ティ キム ヒエンさん (ヒエンさん)



熊本県

出身：ベトナム
日本語能力：N2
家族：一人暮らし
居住地：熊本県



外国人と日本人が平等と一緒に働くことができる職場は多くないと感じているため、待遇面でもやりがいを感じます。仕事に行き利用者さんと会うと楽しく、利用者さんに合ったケアプランをもっと上手に作れるようになります。



来日前

「留学」

2015年3月 来日
日本語学校に入学

2017年4月
介護専門学校（養成施設） 入学

クラスメイトとグループで勉強することもあり、今でも一緒に食事に行くことがあります。特別養護老人ホーム 輝祥苑でアルバイトをしていましたが、通うのに近いノットホームに移って週2回アルバイトをしました。



社会福祉法人リデルライトホーム
地域密着型ユニット型介護老人福祉施設 ノットホーム
〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪5丁目23-1
<http://riddell-wright.com/office/#toc8>



サービス：地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
定員：従来型29名
職員数：15名（介護職員●名、介護福祉士●名）
外国人職員：1名「介護」

【嬉しかった支援は？】

- 施設と熊本県の奨学会。
- 熊本県の補助金は、5年間熊本県内の施設で働いた場合返還義務が無いものである。

【あなたにとっての介護のやりがい？】

- 介護の勉強をして、家族にシェアしたいと思っている。日本で勉強してよかったのは、認知症や病気になった時の食事形態等、年をとった時の対応がわかったこと。24時間家族が介護することは大変だと思うが、いつか自分が家族を介護するときストレスを溜めないで対応することができると思う。



在留資格「介護」

2021年4月

地域密着型ユニット型介護老人福祉施設
ノットホーム 入職

リデルライトホームは人間関係が良さそうに長く働けるとして入職を決めました。外国人は一人だけですが、特に不安はありませんでした。今は日本語を学びたい気持ちが強く、介護の専門用語も覚えたいです。

在留資格の申請手続きは、自己責任で自分でやっています。

入管に申請書を取りに行き、会社が記入する書類は会社に作成を依頼します。やり直しがなく一度で終わることはありませんが、何かあったときに自分で責任持ちたいと思って行動しています。在留資格を更新するたびに運転免許証やマイナンバーカードも更新しなければならず、負担が大きいと感じます。



認知症の人の介助では、介護職の会話は一般的に減りますが、ヒエンさんは声掛けをしっかりとっています。一度指示をすれば任せることができ、ユニットリーダーからの信頼も厚く、ゆくゆくはリーダーになってもらいたいと期待しています。

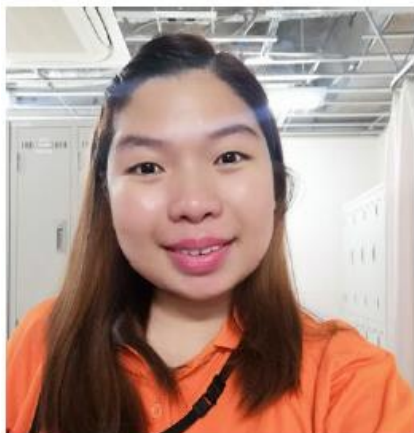
外国人職員の受け入れ実績が少ないため、入職者に個人の要望を聞いて対応をしています。業務やキャリアパスに外国人と日本人の違いはなく、適材適所で考えています。まだまだ手探り状態で、一法人でできることには限界があるため、複数の法人で連携できるといいかもしれません。



管理部長 36
米田さんより

他にも。。。

Japan Care Worker Guideでの「特定技能オンラインセミナー」で、先輩として、沢山アドバイスしてくれたEPA介護福祉士の皆様



(国の) 外国人高齢者 (多文化共生) に関するワーキングにメンバーとして参加してくれている大先輩



ベトナムで、ベトナム語でベトナムの方々に日本の「介護福祉士国家資格」教育している大先生

